

四半期報告書

(第29期第2四半期)

自 平成29年6月21日

至 平成29年9月20日

株式会社アジュバンコスメジャパン

神戸市中央区下山手通五丁目5番5号

(E27016)

目 次

	頁
表 紙	1
第一部 企業情報	
第1 企業の概況	
1 主要な経営指標等の推移	2
2 事業の内容	3
第2 事業の状況	
1 事業等のリスク	4
2 経営上の重要な契約等	4
3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	4
第3 提出会社の状況	
1 株式等の状況	
(1) 株式の総数等	7
(2) 新株予約権等の状況	7
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	7
(4) ライツプランの内容	7
(5) 発行済株式総数、資本金等の推移	7
(6) 大株主の状況	8
(7) 議決権の状況	9
2 役員の状況	9
第4 経理の状況	10
1 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	11
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	13
四半期連結損益計算書	13
四半期連結包括利益計算書	14
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	15
2 その他	17
第二部 提出会社の保証会社等の情報	18

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成29年10月27日
【四半期会計期間】	第29期第2四半期（自 平成29年6月21日 至 平成29年9月20日）
【会社名】	株式会社アジュバンコスメジャパン
【英訳名】	A D J U V A N T C O S M E J A P A N C O . , L T D .
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 松井 健二
【本店の所在の場所】	神戸市中央区下山手通五丁目5番5号
【電話番号】	078(351)3100（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部本部長 中川 秀男
【最寄りの連絡場所】	神戸市中央区下山手通五丁目5番5号
【電話番号】	078(351)3136
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部本部長 中川 秀男
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第28期 第2四半期連結 累計期間	第29期 第2四半期連結 累計期間	第28期
会計期間	自 平成28年3月21日 至 平成28年9月20日	自 平成29年3月21日 至 平成29年9月20日	自 平成28年3月21日 至 平成29年3月20日
売上高 (千円)	2,253,836	2,564,484	4,771,277
経常利益 (千円)	275,926	341,628	528,305
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益 (千円)	217,025	217,886	330,535
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	192,356	216,244	335,020
純資産額 (千円)	4,398,450	4,567,528	4,541,114
総資産額 (千円)	5,615,905	5,737,277	5,783,613
1株当たり四半期（当期）純利益金額 (円)	27.35	27.55	41.72
潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額 (円)	27.20	27.39	41.49
自己資本比率 (%)	78.3	79.6	78.5
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△12,856	241,196	268,461
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△166,614	△344,631	△199,030
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△272,683	△215,192	△353,870
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高 (千円)	1,989,320	1,846,095	2,166,690

回次	第28期 第2四半期 連結会計期間	第29期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成28年6月21日 至 平成28年9月20日	自 平成29年6月21日 至 平成29年9月20日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	8.79	11.98

(注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて、重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資の持ち直しの動きが継続し、緩やかな回復基調が続いておりますが、米国の政策動向、北朝鮮情勢を巡る地政学リスク等、先行き不透明な状況ではあります。

美容業界におきましては、顧客単価の下落、来店サイクルの長期化等、サロン※注1経営において厳しい環境が続いており、当社商品を販売するアジュバンサロン※注2においても同様の影響がありました。

このような状況のもと、当社グループは、営業方針を「年間販促計画の策定と実行」「カウンセリングの知識・技術の習得」「アフターフォローの習慣化」「顧客分析の徹底と関係性の強化」として掲げ、サロンの安定した経営サポートを目指すとともに、引き続き、商品の流通状況が把握できるトレーサビリティシステム等で、非正規流通取引先※注3の取締りに取り組んでおります。

売上高につきましては、平成28年6月1日付で、エクシードシステム株式会社を連結子会社としたこと及び、スキンケア商品の新商品であるダイヤモンドジェイ（DJ）シリーズが堅調に推移したことにより増加いたしました。なお、アジュバンサロン登録軒数につきましては、当第2四半期連結会計期間末で6,911軒となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,564百万円（前年同期比13.8%増）となりました。売上高の増加に伴い利益面では、営業利益337百万円（前年同期比20.4%増）、経常利益341百万円（前年同期比23.8%増）、前年同期に子会社の税務上の繰越欠損金が解消したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は217百万円（前年同期比0.4%増）となりました。

区分別売上高は、売上割戻金を含めて次のとおりであります。

区分	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増減額 金額（百万円）	増減率 （%）
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）		
スキンケア	978	43.4	1,031	40.2	53	5.4
ヘアケア	1,183	52.5	1,130	44.1	△52	△4.4
カラー剤	24	1.1	20	0.8	△3	△14.0
その他	225	10.0	531	20.7	306	136.0
売上割戻金	△157	△7.0	△150	△5.8	6	—
合計	2,253	100.0	2,564	100.0	310	13.8

（注）1. エクシードシステム株式会社（連結子会社）、ADJUVANT HONG KONG COMPANY LIMITED（連結子会社）の売上高は、「その他」に含んでおります。

2. 売上割戻金は、商品ごとではなく売上高の合計を基準として割戻率を設定しているため、区分ごとに配賦せず合計額で表示しております。

国内海外別売上高は、次のとおりであります。

区分	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増減額 金額（百万円）	増減率 （%）
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）		
国内売上高	2,116	93.9	2,421	94.4	304	14.4
海外売上高	136	6.1	143	5.6	6	4.6
合計	2,253	100.0	2,564	100.0	310	13.8

当社グループは、単一セグメントであるためセグメント別の記載はしていませんが、区分別売上高の概要は以下のとおりであります。

(スキンケア)

スキンケア商品の売上高は、新商品であるダイヤモンドジェイ (D J) シリーズの販売が、引き続き、堅調に推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,031百万円 (前年同期比5.4%増) となりました。

(ヘアケア)

ヘアケア商品の売上高は、前期末に対応した非正規流通先の影響により前年同期を下回りました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,130百万円 (前年同期比4.4%減) となりました。

(カラー剤)

カラー剤商品の売上高は、アジュバンサロンへの継続的なフォローが不十分であったこと等から、前年同期を下回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は20百万円 (前年同期比14.0%減) となりました。

(その他)

その他の区分には、前第2四半期連結累計期間よりエクシードシステム株式会社の売上高が含まれております。

MA Pシステム^{※注4}におきましては、当第2四半期連結会計期間末における契約件数が250件 (前期末比8件減) となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は531百万円 (前年同期比136.0%増) となりました。

※注1 「サロン」

理美容室・エステティックサロン・ネイルサロン・アイラッシュサロン・美容クリニック等を指します。

※注2 「アジュバンサロン」

初回に100千円以上の仕入を行い、当社グループが指導する商品の案内方法等を定めたアジュバンサロン契約を締結したサロンを指します。なお、平成30年3月期よりA・C・S登録店を見直し、アジュバンサロンとしております。

※注3 「非正規流通取引先」

カウンセリングを行わずインターネット等による販売を行うアジュバンサロン、代理店を指します。

※注4 「MA Pシステム」

サロンの顧客管理、経営分析のために提供しているクラウド型経営サポートシステムを指します。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して46百万円減少し、5,737百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して317百万円減少の3,446百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金の減少349百万円、受取手形及び売掛金の減少19百万円、有価証券の取得による増加100百万円によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して271百万円増加の2,290百万円となりました。主な変動要因は、有形固定資産の償却による減少31百万円、社債の購入等による投資有価証券の増加303百万円によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して63百万円減少の663百万円となりました。主な変動要因は、買掛金の減少44百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して8百万円減少の506百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金の減少17百万円、役員退職慰労引当金の増加9百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して26百万円増加の4,567百万円となりました。主な変動要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加217百万円、配当金の支払による減少189百万円によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、営業活動により得られた資金を配当金の支払、投資有価証券の取得等で使用した結果、前連結会計年度末に比べて320百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には1,846百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、241百万円（前年同期に使用した資金は12百万円）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益341百万円の計上、減価償却費38百万円の計上、売上債権の減少額19百万円、仕入債務の減少額44百万円及び法人税等の支払額155百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は344百万円（前年同期比178百万円増）となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出300百万円、定期預金の払戻による収入101百万円、定期預金の預入による支出125百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は215百万円（前年同期比57百万円減）となりました。これは主に、配当金の支払額189百万円、長期借入金の返済による支出20百万円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、73百万円であります。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	22,000,000
計	22,000,000

②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成29年9月20日)	提出日現在発行数(株) (平成29年10月27日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	7,959,600	7,959,600	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数100株 (注)
計	7,959,600	7,959,600	—	—

(注) 1. 完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社の標準となる株式であります。

2. 「提出日現在発行数」欄には、平成29年10月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成29年6月21日～ 平成29年9月20日	—	7,959,600	—	757,176	—	717,107

(6) 【大株主の状況】

平成29年9月20日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
中村 豊	神戸市西区	1,228,800	15.44
田中 昌樹	神戸市西区	939,400	11.80
田中 順子	神戸市西区	600,000	7.54
株式会社T・Nソリューション	神戸市西区美賀多台3丁目4-5	600,000	7.54
株式会社ボンニー	神戸市西区榎野台6丁目10-4	600,000	7.54
JPLLC CLIENT SAFEKEEPING ACCOUNT (常任代理人 シティバンク、 エヌ・エイ東京支店)	FOUR CHASE METROTECH CENTER BROOKLYN, NY 11245 (東京都新宿区新宿6丁目27番30号)	234,400	2.94
アジュバンコスメジャパン従業員 持株会	神戸市中央区下山手通5丁目5番5号	193,786	2.43
日本マスタートラスト信託 銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	145,200	1.82
日本トラスティ・サービス信託銀 行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	127,200	1.60
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL (常任代理人 ゴールドマン・サ ックス証券株式会社)	133 FLEET STREET LONDON EC4A 2BB U. K. (東京都港区六本木6丁目10番1号 六 本木ヒルズ森タワー)	118,000	1.48
計	—	4,786,786	60.14

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成29年9月20日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	普通株式 50,000	—	—
完全議決権株式 (その他)	普通株式 7,908,300	79,083	(注)
単元未満株式	普通株式 1,300	—	—
発行済株式総数	7,959,600	—	—
総株主の議決権	—	79,083	—

(注) 完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社の標準となる株式であります。なお、1単元の株式数は、100株であります。

② 【自己株式等】

平成29年9月20日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合 (%)
株式会社アジュバンコスメジャパン	神戸市中央区 下山手通5丁 目5番5号	50,000	—	50,000	0.62
計	—	50,000	—	50,000	0.62

(注) 当社は、会社法第163条の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、平成29年4月21日をもって、当社子会社であるエクシードシステム株式会社が所有している当社株式50,000株 (株式保有割合0.62%) の全てを取得しております。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成29年6月21日から平成29年9月20日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成29年3月21日から平成29年9月20日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,391,386	2,041,811
受取手形及び売掛金	542,311	522,318
有価証券	—	100,000
商品及び製品	522,796	516,043
原材料及び貯蔵品	22,906	19,914
その他	296,652	251,102
貸倒引当金	△11,397	△4,284
流動資産合計	3,764,655	3,446,905
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	882,643	882,325
その他	743,070	748,107
減価償却累計額	△446,774	△478,170
有形固定資産合計	1,178,940	1,152,262
無形固定資産		
のれん	80,406	70,946
その他	28,123	22,061
無形固定資産合計	108,530	93,008
投資その他の資産		
投資有価証券	477,827	780,880
その他	264,306	273,264
貸倒引当金	△10,646	△9,044
投資その他の資産合計	731,487	1,045,101
固定資産合計	2,018,957	2,290,371
資産合計	5,783,613	5,737,277
負債の部		
流動負債		
買掛金	174,280	129,908
1年内返済予定の長期借入金	40,446	35,460
未払法人税等	135,359	98,155
賞与引当金	98,277	103,846
その他	279,296	296,311
流動負債合計	727,659	663,681
固定負債		
長期借入金	64,935	47,565
退職給付に係る負債	34,840	36,799
役員退職慰労引当金	360,320	369,980
資産除去債務	26,858	26,896
その他	27,885	24,825
固定負債合計	514,839	506,066
負債合計	1,242,498	1,169,748

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	757,176	757,176
資本剰余金	717,107	717,107
利益剰余金	3,111,229	3,139,286
自己株式	△45,550	△45,550
株主資本合計	4,539,963	4,568,020
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,828	△3,397
為替換算調整勘定	6,979	2,905
その他の包括利益累計額合計	1,150	△491
純資産合計	4,541,114	4,567,528
負債純資産合計	5,783,613	5,737,277

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月21日 至平成28年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月21日 至平成29年9月20日)
売上高	2,253,836	2,564,484
売上原価	837,907	940,513
売上総利益	1,415,929	1,623,971
販売費及び一般管理費	※ 1,135,737	※ 1,286,656
営業利益	280,191	337,315
営業外収益		
受取利息	1,758	1,854
受取配当金	140	304
受取家賃	—	1,003
雑収入	3,250	3,997
営業外収益合計	5,149	7,160
営業外費用		
支払利息	396	302
為替差損	9,010	2,451
雑損失	8	92
営業外費用合計	9,415	2,847
経常利益	275,926	341,628
特別利益		
投資有価証券売却益	22	—
段階取得に係る差益	27,442	—
特別利益合計	27,465	—
特別損失		
固定資産除却損	—	9
特別損失合計	—	9
税金等調整前四半期純利益	303,391	341,618
法人税、住民税及び事業税	94,368	114,061
法人税等調整額	△8,002	9,669
法人税等合計	86,366	123,731
四半期純利益	217,025	217,886
親会社株主に帰属する四半期純利益	217,025	217,886

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年3月21日 至 平成28年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年3月21日 至 平成29年9月20日)
四半期純利益	217,025	217,886
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,202	2,430
為替換算調整勘定	△18,466	△4,073
その他の包括利益合計	△24,668	△1,642
四半期包括利益	192,356	216,244
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	192,356	216,244
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月21日 至平成28年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月21日 至平成29年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	303,391	341,618
減価償却費	36,891	38,217
のれん償却額	4,729	9,459
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△960	△8,715
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,067	5,569
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△2,241	1,959
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	9,660	9,660
受取利息及び受取配当金	△1,899	△2,159
支払利息	396	302
為替差損益 (△は益)	7,683	2,426
固定資産除却損	—	9
投資有価証券売却損益 (△は益)	△22	—
段階取得に係る差損益 (△は益)	△27,442	—
売上債権の増減額 (△は増加)	51,443	19,993
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△80,311	6,975
仕入債務の増減額 (△は減少)	△29,457	△44,371
その他	△100,644	13,703
小計	170,148	394,647
利息及び配当金の受取額	1,899	2,159
利息の支払額	△396	△302
法人税等の支払額	△184,507	△155,307
営業活動によるキャッシュ・フロー	△12,856	241,196
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,898	△7,093
無形固定資産の取得による支出	△660	△805
投資有価証券の取得による支出	△100,192	△300,023
投資有価証券の売却による収入	10,022	394
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	44,268	—
貸付けによる支出	△1,800	△1,000
貸付金の回収による収入	42	241
定期預金の預入による支出	△313,432	△125,873
定期預金の払戻による収入	208,963	101,013
保険積立金の積立による支出	△8,079	△8,723
保険積立金の解約による収入	3,771	—
その他	△2,618	△2,762
投資活動によるキャッシュ・フロー	△166,614	△344,631
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	300,000	400,000
短期借入金の返済による支出	△300,000	△400,000
長期借入金の返済による支出	△77,883	△20,676
リース債務の返済による支出	△4,678	△5,046
配当金の支払額	△190,121	△189,469
財務活動によるキャッシュ・フロー	△272,683	△215,192
現金及び現金同等物に係る換算差額	△26,394	△1,969
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△478,548	△320,595
現金及び現金同等物の期首残高	2,467,868	2,166,690
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 1,989,320	※ 1,846,095

【注記事項】

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年3月21日 至 平成28年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年3月21日 至 平成29年9月20日)
給料及び手当	273,677千円	314,815千円
役員退職慰労引当金繰入額	9,660千円	9,660千円
賞与引当金繰入額	95,294千円	93,959千円
退職給付費用	2,492千円	7,848千円
研究開発費	76,213千円	73,602千円
減価償却費	30,915千円	34,203千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年3月21日 至 平成28年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年3月21日 至 平成29年9月20日)
現金及び預金勘定	2,440,371千円	2,041,811千円
有価証券	－千円	100,000千円
預入期間が3か月を超える定期預金等	△451,051千円	△295,716千円
現金及び現金同等物	1,989,320千円	1,846,095千円

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年3月21日 至 平成28年9月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年6月16日 定時株主総会	普通株式	191,030	24	平成28年3月20日	平成28年6月17日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、連結子会社が所有する自己株式(当社株式)にかかる配当金が1,200千円含まれております。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年3月21日 至 平成29年9月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年6月15日 定時株主総会	普通株式	191,030	24	平成29年3月20日	平成29年6月16日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、連結子会社が所有する自己株式(当社株式)にかかる配当金が1,200千円含まれております。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成28年3月21日 至平成28年9月20日)

当社グループは、アジュバン化粧品の商品企画、研究開発、販売及びこれに附帯するサービス業務を営む単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年3月21日 至平成29年9月20日)

当社グループは、アジュバン化粧品の商品企画、研究開発、販売及びこれに附帯するサービス業務を営む単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月21日 至平成28年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月21日 至平成29年9月20日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	27.35円	27.55円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	217,025	217,886
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	217,025	217,886
普通株式の期中平均株式数(株)	7,934,328	7,909,600
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	27.20円	27.39円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数(株)	43,603	45,516
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株 式で、前連結会計年度末から重要な変動があったも のの概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年10月27日

株式会社アジュバンコスメジャパン

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 西野 尚弥 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小林 雅史 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アジュバンコスメジャパンの平成29年3月21日から平成30年3月20日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成29年6月21日から平成29年9月20日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成29年3月21日から平成29年9月20日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アジュバンコスメジャパン及び連結子会社の平成29年9月20日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成29年10月27日
【会社名】	株式会社アジュバンコスメジャパン
【英訳名】	ADJUVANT COSME JAPAN CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 松井 健二
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	神戸市中央区下山手通五丁目5番5号
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長松井健二は、当社の第29期第2四半期（自 平成29年6月21日 至 平成29年9月20日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。